

わたしの 妊娠報告書

記載日 20 年 4 月 17 日

| | |
|-------------|------------------------|
| おめでた宣言日 | 20 年 4 月 |
| 年齢 (32) 歳 | 平成 (16) 年 (8) 月 結婚 |
| 私は (体外受精) | で妊娠しました。 |

| | |
|--|--------------------------------------|
| 不妊治療歴 | (2) 年 (0) ヶ月 |
| 他院での治療歴 | なし (あり) → 内容 (自然排卵による タイミング法 11 回) |
| ASKA での治療歴 | |
| 一般不妊治療 | |
| <input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (1) 回 | |
| <input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回 | |
| <input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精 () 回 | |
| <input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精 (4) 回 | |
| 生殖補助医療 | |
| <input type="checkbox"/> DOST 法 () 回 | |
| <input type="checkbox"/> 体外受精 (1) 回 | |
| <input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回 | |

妊娠の秘訣・心がけていた事

お腹と足元は冷やさないように 冬は毛糸のパンツ 夏は腹巻き、靴下は必ずはいていました。またなるべくシャワーではなくお風呂に入るように心がけました。体外受精の時は 卵を作る低温期に豆乳、着床する高温期にはグレープフルーツジュースを飲んでいました。また採卵日、判定日、帯嚢確認日、心拍確認日には子宝神社で買ったお守りに手を合わせてから病院へ行っていました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

夫婦共に原因不明の為、なるべく自然でという気持ちが強く、他院では薬なしでのタイミングを1年以上、自己タイミングを含めると2年以上と薬を使用するまでとても時間がかかりました。次第にヒコクソフアノ障害や受精障害ではと思い体外受精を視野に入れて了スカへ転院しました。人工受精から体外受精へのステップアップの時期も人それぞれでとても悩みました。体外受精でも極力薬の量を減らしてほしいし採卵は4つでしたが全て受精し良好胚だったため1つを移植し見事1回目で妊娠することができました。残り1つも胚盤胞まで進み凍結することもできました。

その他 (通院・治療費・家族など)

体外受精は大きなステップでもあったので治療を始めてから両親に話しました。実家が病院から近いこともあり帰りは毎回立ち寄り栄養のあるバランスの良い食事を作ってくれました。また夫には休みの週末の通院は一緒に連れて来てもらったり気分転換に旅行や温泉に連れて行ってもらいました。夫や両親の支えはかなり大きいものでした。

治療中の方へのアドバイス

毎回高温期の時期は体の少しいの変調で期待したり、あきらめたりと繰り返してきました。妊娠した時も判定日まで今まで生理がくる時と変わらない体調であきらめていました。でも人それぞれで体調が変わらない人もいるんだなと分かりました。だから最後まであきらめず頑張ってください。そして不安やストレスは一人でかかえないで夫婦や家族に話しを聞いてもらってください。

スタッフへのご意見など

中山先生をはじめスタッフの皆さんには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。中山先生には気になる事、不安な気持ちを全て話していたので大変だったかと思いますが私自身聞いてもらうことで気持ちが落ち付きました。栗井さんにも体外受精前のオリエンテーションでは長時間にわたり色々な話を聞いていただき治療への不安は減りとても心強かったです。受付の皆さんはいつも笑顔で迎えて下さるので嬉しかったです。皆さん本当に有難うございました。